

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)
分担研究報告書

乾癬に占める乾癬性関節炎の頻度に関する研究

研究分担者 奥山隆平 信州大学医学部 教授
研究協力者 小川英作 信州大学医学部 講師

研究要旨

日本における乾癬の診療の実情の把握するため、人の移動の激しくない長野県松本市とその近郊において地域のおよそ全ての皮膚科医療機関が参加して、乾癬の診療の調査を実施した。医師が記録する調査用紙を作成し、2016年2月～6月に、松本市とその近郊の皮膚科を標榜する5つの病院と10のクリニックにおいて、受診した全例の乾癬患者の状況を調べた。その結果、乾癬の発症率は0.097%であり、乾癬性関節炎の割合は5.9%であった。病院だけでなくクリニックも含めて調査を実施しており、日本人の乾癬性関節炎の実情をより反映した結果が得られたと思われる。乾癬性関節炎が乾癬に占める割合は、数%と想定される。

A．研究目的

長野県松本市とその近郊は人の移動の激しくないため、地域のおよそ全ての皮膚科医療機関で調査を行い、日本における乾癬の診療の実情の把握を試みた。

B．研究方法

2016年2月～6月に、松本市とその近郊の皮膚科を標榜する5つの病院と10のクリニックにおいて調査を実施した。医師が記録する調査用紙を作成し、受診した全例の乾癬患者の状況を記載した。

調査期間終了後、調査用紙を回収し、結果をまとめ解析を実施した。

(倫理面への配慮)

データの収集は、通常の診察およびアンケートの形式をとり、患者の個人情報は一切含まない形での統計処理を行なった。

C．研究結果

乾癬の発症率は0.097%であり、乾癬全体に占める乾癬性関節炎の割合は5.9%であった。

D．考察

比較的最近まで乾癬性関節炎は日本人では稀な疾患として捉えられてきた。そのため、診断や治療が遅れ、不可逆的な障害が生じてしまう場合も少なくなかった。しかし、乾癬性関節

炎に対する皮膚科医やリウマチ医の注目が高まるとともに、稀な疾患ではないという認識が広まってきた。Yamamotoらは10.5%(*J Dermatol* 2016; 43: 1193-6)、Oharaらは14.3%(*J Rheumatol* 2015; 42: 1439-42)と乾癬性関節炎の割合を報告しており、稀でないことを裏付けている。しかし、この2つの調査は基幹病院を対象とした調査であり、対象に占める中等症から重症の乾癬患者の割合が高く、乾癬性関節炎の割合も高くなる可能性が懸念される。今回は、病院だけでなくクリニックも含めて調査を実施したので、日本人における乾癬性関節炎の割合に関して、より実情を反映した結果が得られたのではないかと考えている。

E．結論

乾癬性関節炎が乾癬に占める割合は、日本では数%と想定される。

F．研究発表

1. 論文発表

Ogawa E, **Okuyama R**, Seki T, Kobayashi A, Oiso N, Muto M, Nakagawa H, Kawada A. Epidemiological survey of patients with psoriasis in Matsumoto city, Nagano Prefecture, Japan. *J Dermatol* 45: 314-317, 2018. doi: 10.1111/1346-8138.14101.

Yamamoto T, Ohtsuki M, Sano S, Igarashi A, Morita A, **Okuyama R**, Kawada A. Prevalence and current therapies of psoriatic

arthritis in Japan: a survey by the Japanese Society of Psoriasis Research in 2016. *J Dermatol* 44: e121, 2017. doi: 10.1111/1346-8138.13800.

2. 学会発表

小川英作、関智子、小林彩、奥山隆平 長野県における乾癬治療の現状(2017年): 乾癬診療の変化 日本乾癬学会 東京 9/8、9/2017

関智子、小川英作、小林彩、奥山隆平 長野県における乾癬治療の現状(2017年): 生物学的製剤に対する考え 日本乾癬学会 東京 9/8、9/2017

山本俊幸、大槻マミ太郎、佐野栄紀、五十嵐敦之、森田明理、奥山隆平、川田暁、乾癬性関節炎疫学調査ワーキンググループ 長野県における乾癬治療の現状(2017年): 生物学的製剤に対する考え 日本乾癬学会 東京 9/8、9/2017

G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし